

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月 日

協議会名: 北斗市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社新星ハイヤー	<p>運行系統名:(1) 茂辺地・石別線、(2) 上磯線①、(3) 上磯線②、(4) 大野線①、(5) 大野線②、(6) 大野線③、(7) 石別地区デマンド</p> <p>運行区間:(1) 灯台入口～北斗市役所、(2) 押上～上磯駅前商店街、(3) 三好会館～北斗市役所、(4) 稲里～せせらぎ温泉、(5) 長橋～総合分庁舎前、(6) 東開発～総合分庁舎前、(7) 北斗市当別全域、三ツ石全域</p> <p>運行回数:(1) 188回、(2) 94回、(3) 94回、(4) 100回、(5) 100回、(6) 100回、(7) 58回</p> <p>運賃:300円(①三ツ石～茂辺地大橋間での乗降については200円)</p>	<p>より乗降しやすい路線とするため国道等を除く路線内にフリー乗降区間を設定したほか、住宅地が点在する当別・三ツ石地区に区域運行を導入した。</p> <p>鉄道への接続や目的地での滞在時間を改善するため、茂辺地・石別線の起終点を変更し、北斗市役所まで路線を延長(清川口駅で道南いさりび鉄道への接続を改善。石別地区デマンドも同じ。)。さらに、午後の運行も追加した。</p> <p>また、よりわかりやすい路線とするため、上磯線及び大野線を分割し、起終点が目で見直した。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 各路線沿線地域高齢者の利用が低調であり、収支率は目標20%に対し11.68%(前年比+2.69pt)であった。 また、輸送量については、大野線①3.4人のみ2人を上回ったが、それ以外の系統は2人を下回った。 ・茂辺地・石別線 1.6人 ・上磯線① 0.3人 ・上磯線② 0.5人 ・大野線② 0.3人 ・大野線③ 0.5人 ・石別地区デマンド 0.2人	<p>鉄道への接続や目的地での滞在時間を改善するため運行時間の見直しを行う。</p> <p>また、具体的な行き先、乗車時間、乗降場所、乗り継ぎ情報等を掲載したオーダーメイドの時刻表カードを作成し、高齢免許返納者等で希望する方に配布するほか、モニター乗車、サポート乗車を複数回実施することで、実施に巡回ワゴンを体験してもらう。</p>